

『ふるさとのほこり・福井洞窟』国指定遺跡

佐世保市立吉井北小学校 平成 29 年度 第 64 回卒業生 卒業研究

マスコット
福井洞くん



福井洞窟は、標高約 110m、吉井北小学校の北 800m のところにある砂岩の洞窟です。この洞窟は横 16.4m、高さ 4.7m、奥行き 5.5m の大きな洞窟です。

約 1 万 9 千年前の旧石器時代から約 9 千年前の縄文時代までの約 1 万年間、人々が生活した遺跡です。

洞窟の入り口は、西を向いていて、昼間は太陽の光が入り、とても暖かくすごせます。夏場は涼しく感じ、過ごしやすいところです。

このことから、昔の人たちは過ごしやすかったのだらうと思いました。

また、学校の近くには、食べ物を求めて洞窟から移動したときに生活した岩陰（いわかげ）遺跡が残っています。岩陰は、洞窟ほど奥行きはありません。



直谷岩陰遺跡



福井洞窟

当時の暮らしと服装

福井洞窟に住んでいた人の数は、約 5 ～ 10 人で、洞窟に住むのは 1 家族とは限りません。周辺の岩陰と違い、大きい洞窟には、長い期間、人が住んでいたと考えられています。

住んでいた人たちの服装は、動物の皮を身に付けていて、寝るときも動物の皮をしいて寝ていたと思われます。髪型は天然パーマだったとも考えられています。

福井洞窟に人が住んでいた時代は、ロシアのように寒い気候でした。このことから冬の期間が長かったと考えられています。その中で、火を燃やしていたことがわかりました。その事が分かる焼けた石が見つかりました。この時代の火の起こし方はおそらく、まさつによるものですが、はっきり分かりません。

文字はなかったものの、コミュニケーションのとり方は、今とあまり変わらない（音声？）と言われています。

福井洞窟に住んでいた人たちは、工夫をしながら長い期間暮らしていたことがわかりました。



焼けた石と思われるもの

オオツノジカ



動物は食べるだけではなく毛皮も大事なんだよ。



福井洞窟・石器コレクション

福井洞窟では、矢じり、細石刃、やり、スクレイパー、おの、ハンマーなどの石器が見つかりました。細石刃ややじり、やりなどは、えものをしとめるために作られた道具です。その中でも、やじりや細石刃は黒曜石、やり、スクレイパー、おのは安山岩でできています。

これらの、黒曜石や安山岩を砂岩のハンマーでくんでいたいました。ですから、福井洞窟や周辺の遺跡では、くだいたあとの黒曜石が見つかります。福井洞窟では松浦の黒曜石と、針尾の黒曜石が見つかりています。

松浦の黒曜石の特ちょうは黒っぽくて透明で、針尾の黒曜石の特ちょうは、青黒い色でできています。

他にも、福井洞窟では最も古い縄文土器のかけらが見つかりました。もしかすると福井洞窟は日本で最も古い縄文時代の遺跡かもしれません。

調べてみて身近な所に石器や土器がたくさんあってびっくりしました。



縄文土器の一部と思われるもの



おどろき！矢じりの作り方

皆さんは矢じりの作り方は知っていますか？矢じりの作り方について説明します。

矢じりの原料となる黒曜石を、砂岩のハンマーで割ります。黒曜石を割るときに、きれいに割れやすいところがあります。そこを見極めて当てると、きれいに割れます。そのきれいに割れた黒曜石を削るためには、鹿の角が必要です。黒曜石のはしを、鹿の角で削り、形を整え、とがさせます。これで完成です。



私たちは、黒曜石の使い方の体験をして、黒曜石はガラス質だから、切れやすいと分かりました。実際に鳥の肉と紙を切ってみました。すると「スーッ」と切れました。黒曜石は切れやすいようです。

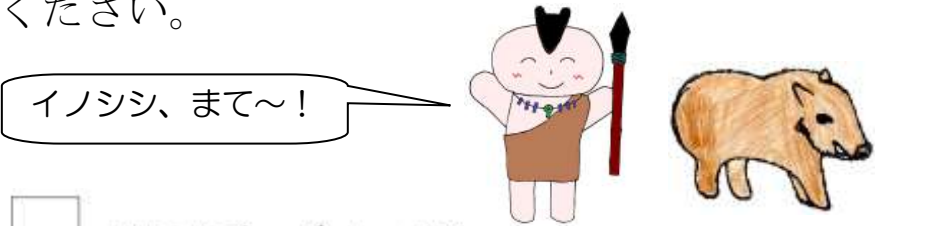
当時の食べ物、丸分かり！

食べられていたものは、オオツノジカ・ウサギ・どんぐり・栗（木の実）・貝・イノシシ・魚（川の魚、海の魚）などです。

いろいろな種類の食べ物を食べていたのが分かりますね。これらの食べ物を火で焼いたり、煮たりしていました。食べられていたものに海の魚がありました。サバの骨が、1点だけ見つかったそうです。福井洞窟の近くでは海の魚は取れない

ので、どこかの地域と交流があったことが考えられます。昔から、どこかの地域と交流があったことは、とてもすごいことだと思います。

昔は、くだものが、食べられていなかったのか気になりますね？縄文時代では、今、山になっているアケビなどが食べられていました。福井洞窟は、旧石器時代～縄文時代の生活のことがよく分かるすごいところなのです。みなさんもぜひ来てください。



佐世保の大昔	
700万年前	猿人の時代
250万年前	原人の時代
40万年前	旧人の時代
20万年前	新人の時代
4万年前	新人が日本にたどりつく。
3万年前	福井洞窟の誕生
2万年前	蒙古野馬が住み、ナイフ形石器をもつ人がいた。 福井洞窟、直谷岩陰に人が住みはじめる。 鳥帽子岳、板山、牟田原、横手遺跡、城ヶ岳、上原遺跡で狩りが行われる。
1万6千年前	泉福寺で「豆粒文土器」、城ヶ岳で「隆起線文土器」が作られた。 「隆起線文土器」を持つ人々が福井洞窟に住みはじめる。
1万年前	岩下洞穴、下本山岩陰、横手遺跡、大悲観岩陰で狩りが行われる。
3千年前	宮の本遺跡に人が住みはじめる。
2千3百年前	四反田遺跡、宮の本遺跡、大念寺、萩坂、にらうができる。
2千2百年前	中村遺跡、本立寺に共同墓地が形成される。 赤木場や木浦原に集落ができる。